

令和7年度 宗岡みらい学園 第3回合同学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和8年2月3日（火） 15:00～16:05

2 場所 志木市立宗岡中学校 研修室

3 出席者

【委員】（計8名）

小林 博和	細田 昭喜	古田 征也
田中 信二	松本 秀之	八木 由子
赤沢 直幸		安彦 伸也

【事務局】（計1名）

記録：川瀬 恭彦

4 協議内容

（1）宗岡みらい学園及び各校の様子

①宗岡第二小学校

- ・校外学習の児童の様子
- ・校内音楽会の様子、保護者との連携を重点的に考え、児童が活躍する姿を積極的に公開した。また、保護者の存在が教育活動の充実を図っていた。
- ・校内書きぞめの取組の様子
- ・感染症拡大防止対策の実際について

②宗岡第四小学校

- ・防災キャンプと宗四フェス（校内文化祭）といった新規のイベントを実施した。地域の力をお借りしながら、参加児童や保護者の喜ぶ姿を見ることができた。
- ・次年度の防災キャンプに関しては、参加者にも災害対応の意識を持てるような取組としていく。日程は、7月31日（金）・8月1日（土）に実施予定。サバイバルご飯の実施を検討している。
- ・コロナ禍で精査していった各種行事について、新しい形で学校や地域・保護者が一体的にできると良い。
- ・昨年度から取り組んでいる校内音楽会について、保護者からも好評であった。保護者の姿があることで、緊張感と充実感のある学習活動になった。
- ・感染症拡大防止対策の実際について

③宗岡中学校

- ・感染症拡大防止対策の実際について
- ・次年度の学級編成について、小中一貫教育の成果を感じている。
- ・3年生の受検状況について
- ・次年度の学校行事について

（２）宗岡みらい学園 教育振興基本計画 施策１～５振り返り

①施策１ 「９年間の学びの連続性／系統性な指導」について

- ・令和６年度までに編成したカリキュラム（宗岡みらいモデル）の確認。
- ・編成した宗岡みらい学園モデルを授業の中で具現化していく。
- ・総合的な学習の時間の内容について、今後研究をしていく。
- ・生活指導について、スムーズな小中間の接続や９年間の連続性を確保するために「３校共通のきまり」を今後検討していく。
- ・中学校の教科書では小学校の既習事項を記載されており、小中一貫教育として活用をしている。

②施策２ 児童・生徒の交流

- ・学園共通のマスコットキャラクターを児童生徒で協力して、作り上げることができた。
- ・マスコットと目指す児童生徒像を重ねて活用ができるように計画をしている。
- ・交流活動が計画的に実施され、小小交流や小中交流が充実している。
- ・施策２は児童生徒への直接的な影響が大きいので、今後も取り組んでほしい。

③施策３ 教職員の交流

- ・中学校教員による小学校での乗り入れ授業は加配教員の配置によって充実してきた。
- ・小学校教員が中学校で授業を実施することは研究していく。
- ・３校をまとめる研修担当者を指名し、組織的な研修を実施することができた。
- ・テーマに沿って、授業公開を実施している学校もある。
- ・３校合同研修会として、宗岡みらい学園小中一貫教育連絡協議会を実施し、課題を共通理解し、具体的な取組を検討している。
- ・校内支援ルームの支援員も他校と交流・連携をしている。
- ・不登校対策をはじめ、各取組について保護者への情報発信はどうか。宗岡みらい学園内の情報発信（学校だより）等を３校全てに周知してはどうか。

④施策４ 学習指導の工夫

- ・小学校高学年において、一部教科担任制は実施できている。このことによって、教材研究を効率的に進め、教員の専門性をさらに高めることができています。小学校中学年においても、徐々に教科担任制を導入している。
- ・児童生徒の事態に応じた指導形態を研究・導入したい。

⑤施策５ 家庭・地域との連携

- ・家庭学習強化週間について、保護者の負担を考慮しながらもその実効性を高めるための手順等を充実させる必要がある。
- ・３年目の大人こども地域交流事業（花火大会）についても今後も継続してほしい。餅つき大会についても期待している。
- ・地域学校保健委員会についても今後継続していく。

別添（議事録様式）

- ・地域で生徒が活躍できているのか、その居場所考えている。生徒が活躍できるような場があると良い。今年度の引き渡し訓練もその一つであった。内容の充実について、さらにルールの内容等を課題解決しながら、進める必要がある。

5 連絡事項

- ・議事録の作成及び学校 HP への掲載について

6 次回の開催日程

令和8年4月21日（火） 10：30～ 場所：宗岡中・視聴覚室